

外郭団体特別委員会審査から④

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が2019年12月9日と13日に開催され、日本共産党神戸市会議員団の山本じゅんじ議員、朝倉えつ子議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

12月9日 都市局

一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社

民間企業のもうけの再整備開発やめよ

朝倉えつ子議員

北区の公社桜の宮住宅は、神戸市の「北鈴蘭台駅前地区市街地再開発事業」による再整備のため建替えをおこないました。しかし、建替え中に仮転居し戻ってきた方はわずか5世帯という実態で

す。朝倉議員は、『建替え後は家賃が高く、戻っても住み続けられない』『同じくらいの家賃の別の公社住宅をあっせんされ、引っ越したが狭くなった』『駅から遠くなりタクシーを使わないといけな』など元住民の皆さんの声を紹介し、住民を追い出すような再開発を厳しく批判しました。

答弁ダイジェスト

朝倉議員：新住宅の103戸のうち公社の所有は12戸。社会福祉の増進に寄与す

るという立場の公社が、入居者の方たちに負担をかけ追い出し、大事な神戸市の資産さえも民間の不動産に売り渡すなど、あり得ない。

専務理事：一定の公共事業の中で補償も丁寧にさせていただきながら、色々な情報を提供し相談窓口も設けてきた。御理解いただきたいと思っている。

朝倉議員：市民不在のまちづくりでは到底人口減少に歯止めなどかけられない。民間企業のもうけのための再整備開発はやめるべきだ。

株式会社神戸サンセンタープラザ

料金下げ利用率の向上を

山本じゅんじ議員

センタープラザ西館には、株式会社神戸サンセンタープラザが運営する貸会議室があり、定期利用者の解約等により利用率、売り上げともに前年を下回っています。山本議員は、貸会議室の利用率の向上について改善を要求しました。

答弁ダイジェスト

山本議員：勤労会館の料金と比較すると倍以上もする。値下げをすれば利用率は上がるのではないかと。

手塚都市局市街地整備部長：今現状で料金を下げることは考えていないが、持ち帰って検討する。

その他の質問

センタープラザの経営改善の取り組み状況について

雲井通5丁目再開発株式会社

周辺地域と調和のとれない開発やめよ

山本じゅんじ議員

雲井通5丁目再開発株式会社は、「三宮周辺地区の『再整備基本構想』」、平成30年3月に策定された「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画」に基づき、雲井通5丁目における再整備をすすめています。山本議員は、周辺の地域との調和のとれない再開発計画の問題を指摘しました。

答弁ダイジェスト

山本議員：この周辺の地域に対する影響や、集客の見通しはたっているのか。

業務執行役員：建設予定地の北側に「あじさい商店街」があり、そこからも一体的ににぎわいを創出していこうとい

う要望もあり、一緒に考えながら進めていきたいと考えている。

山本議員：まわりの地域にマイナスの影響があってはならないと、わが会派は反対してきた。このビルそのものが周辺の地域からお客さんを吸いあげてしまうようなことがあってはならない。

神戸ハーバーランド株式会社

来街者の声を反映させたまちづくりへ

山本じゅんじ議員

神戸ハーバーランド株式会社は、ハーバーランド地区内の整備・管理や集客事業等を実施しています。2018年にまちびらき30周年に向けての街のあり方をまとめたハーバーランドプラン30を策定しました。山本議員は、「このプランの中で来街者の方の意見が議論されていないのではないか」と来街者へのアンケートの実施や、アクセス面の改善を求めました。
(2面につづく)

傍聴にお越しく下さい

林まさひと議員が議案質疑

日時 2月18日(火) 11時20分頃から

時間が前後する場合がございますので、余裕をもってお越しく下さい

場所 市議会本会議場

市役所1号館25階で傍聴手続きをお願いします

答弁ダイジェスト

山本議員：今後色々な形でハーバーランドのまちづくりを考えていくには、新しい視点や感覚を反映していくためのヒアリングも必要ではないか。また、JR神戸駅と高速神戸駅からのアクセスが非常にわかりにくく不便だと感じるが、そのような意見はでていないのか。

林都市計画担当局長：交通手段については来街者にアンケートをしている。駅からのアクセスについては、駅周辺に案内はあるかと思うが、今後もまちづくりをすすめていくためには、来街者の意

見は非常に重要と思っている。アクセス面も含めてご指摘の点は検討させていただきたい。

株式会社OMこうべ

求められたニーズに応えられるような運営を

——— 山本じゅんじ議員

株式会社OMこうべは、西区、須磨区等のニュータウン地域と臨海部における商業施設、業務ビル、スポーツ施設、航路事業の運営を担っています。山本議員

は、市の政策とニュータウン近隣のショッピングセンターとが一体化していく必要があるとし、商業部分についての賃料の値下げなど、社会福祉の増進に寄与する企業として、ニュータウンに必要な機能をふまえた上で運営のありかたを議論するよう求めました。

代表取締役専務は、「駅前リノベーションということで、駅前からその魅力を上げて、人口減少社会に対する政策転換をするという流れの中で、民間のコンサルタントの意見も入れる形で、ショッピングセンターのあり方を整理したい」と答弁しました。

12月13日 保健福祉局

地方独立行政法人 神戸市民病院機構

西市民病院院長「厚労省の公表は非常に乱暴」と答弁!

——— 山本じゅんじ議員

厚生労働省は昨年9月、市町村などが運営する公立病院と日本赤十字社などが運営する公的病院の25%超にあたる全国424の病院について「再編統合について特に議論が必要」とする分析をまとめ、病院名を公表しました。山本議員は、424の病院の名簿以外にも非公表で議論されている病院があり、長田・兵庫・須

磨の南部の中核的な病院である西市民病院が再編の対象に挙げられていることについて質しました。

答弁ダイジェスト

山本議員：非公表ではあるが、再編の対象に挙がっていることに対して、院長はどうお考えか。

西市民病院院長：(厚労省の)「近接に類似病院がある」という指摘は必ずしも射っていないこともある。それぞれの地域の近接病院や類似病院をどこまで調べて再編の対象に挙げたのか疑問に思う。非公表であっても地域で調べればわかることで非常に乱暴だ。地域医療構想

あるいは地域包括ケアシステムの中で急性期総合病院・地域の中核的な病院として果たす役割は極めて大きいものであるから、今後もそういう立場で医療を展開していきたいと思っている。

山本議員：一律の基準で評価の対象にしてしまうということが非常に問題だ。

その他の質問

看護師の人材確保と育成について

——— 山本じゅんじ議員

一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団

在宅介護の実態調査について

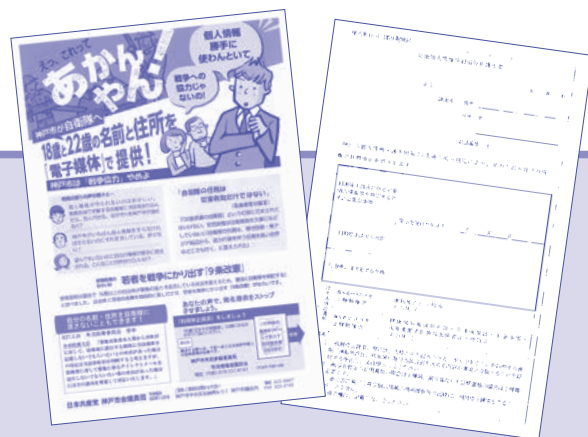
——— 山本じゅんじ議員

朝倉議員：地域のことをわかっていない方々が議論されていて、次回(1月27日)取りまとめがおこなわれてしまう。順序が違うのではないか。地域のまちづくりは住民の皆さんが主体で、勝手に議論をされるのは心外だ。

その他の質問

介護調査認定事業について

——— 朝倉えつ子議員



衛隊に提供する名簿から削除しています。少なくとも神戸市もそうすべきです。

安倍政権言いなりの久元市長による「戦争する国」づくりを阻むみなさんの声を大きくあげましょう!

公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会

住民置きざりのまちづくりやめよ

——— 朝倉えつ子議員

神戸市しあわせの村が開設30周年を迎え、施設の老朽化とともに新たな機能を考える必要があると、リニューアルを計画しています。それを検討する有識者会議では、村の拡張と隣接するひよどり台の市営住宅再編が議論されています。朝

倉議員は、地域住民の方々への説明もなく勝手に計画が進んでおり理解ができないと非難しました。

答弁ダイジェスト

小原保健福祉局長：一例としてひよどり台団地を挙げたままで、まだ土地を指定して議論する段階ではない。30年後を見据えて、どういった機能を付加し、近隣の住機能をどう活用できるのかという観点で意見交換をしている。今後住民の方々のご意見もいただきながら話を進めていく形になろうかと思っている。

自衛隊への名簿提供ストップを!!

久元市長は、2019年10月29日に開かれた本会議で、自衛隊に対し住民基本台帳に記載されている氏名や住所などの情報を電子媒体で提供を検討すると表明しました。これは、2019年1月、隊員が定員割れしている自衛隊員募集のため、18歳と22歳の全員の名簿の提供に協力するよう自治体に求める安倍首相の発言を受けての表明です。

名簿の提供は義務ではなく、提供す

るかどうかは自治体が独自で判断するもので、法や条例に抵触すると提供を拒否している自治体も少なくありません。

日本共産党神戸市会議員団は、名簿提供は認められないと11月1日に市長に対し緊急申し入れをおこないました。しかし、神戸市は我々の申し入れや、市民の不安な声を軽視し、名簿提供を強行しようとしています。

京都市は利用停止請求をすれば、自